

# 全道・全国大会出場 & 結果報告 (7月15日～8月17日)



トランポリン・全国大会  
竹内 愛詩さん(上士幌小6年)

種目：個人競技 女子11・12歳の部  
結果：112人中83位



卓球・全国大会  
千年 颯太さん(上士幌小6年)  
千年 咲煌也さん、清水目 統士さん(同2年)

種目：男子シングルス①6年生以下の部 ②2年生以下の部  
結果：①予選ブロック1位→決勝トーナメント1回戦敗退  
②2名とも予選ブロックで敗退



卓球・全道大会  
上士幌中学校卓球部(団体・個人戦メンバー)

種目：①男子団体戦 ②男子シングルス  
結果：①4位 ②ベスト16(大野さん)、2回戦敗退(山崎さん)、1回戦敗退(菅原さん・松岡さん)



サッカー・全道大会(選抜)  
黒沼 大翔さん(上士幌小6年)

種目：U-12サッカー(8人制)  
結果：予選ブロック3位→3位同士のトーナメントで優勝



サッカー・全道大会  
サッカー少年団(U-10メンバー)

種目：U-10サッカー(8人制)  
結果：準優勝



ソフトテニス・全道大会  
藤野 優奈さん(上士幌高1年)  
中島 ほのかさん(同2年)

種目：女子ダブルス  
結果：1回戦敗退



陸上・全道大会  
五十嵐 琉さん(上士幌小5年)

種目：5年男子走り高跳び  
結果：3位入賞(東日本大会出場決定)



陸上・全道大会  
高橋 志乃さん、渡邊 夏鈴さん(上士幌中3年)

種目：①女子200m ②女子走り幅跳び(渡邊さんのみ)  
結果：①2名とも準決勝敗退 ②4位入賞

## 7/30 花火を観ながらビールで乾杯 ナイトinビアパーティー

上士幌町商工会青年部の創立50周年を記念した「ナイトinビアパーティー」が役場南側駐車場で開かれました。

今年は開催日が土曜日だったこともあり、町内外から多くの来場客でにぎわい、ビールや料理を販売する露店には行列が出来ていました。

また、会場ではダンスパフォーマンスやお楽しみ大抽選会のほか、午後8時からは納涼花火大会も行われ、ビールを飲みながら花火を楽しむ観客の姿が見られました。



## 8/10 体験型観光でまちの魅力を紹介「上士幌体験マルシェ」

上士幌町の豊かな自然を味わえる観光プログラム「上士幌体験マルシェ」(上士幌町観光協会主催)が8月10、11日の2日間に渡って開催されました。

本プログラムは「体験型観光」をテーマに、三国峠カフェでのラテアート体験や糠平湖畔でのスラックライン(=綱渡り)体験、牧場見学ツアーなど、町内全域で全25のイベントが行われました。

航空公園では、人気テレビゲーム「スプラトゥーン」をイメージした水鉄砲バトルが行われ、子どもたちが夢中になりながら、色つきの水を発射していました。

参加した子どもたちからは「すごく面白かった。またやってみたい」との感想が聞かれました。



## 8/11 仮装してにぎやかに。上士幌福寿協会盆踊り

特別養護老人ホーム上士幌すずらん荘前の駐車場で、上士幌福寿協会主催の盆踊りが行われ、入所者や福寿協会の職員、地域住民らが参加しました。

会場では、職員がピエロの仮装をするなどして登場し、会場の雰囲気盛り上げたほか、中央のやぐらでは歌やお囃子、太鼓の演奏が行われ、盆踊りらしさを引き立てていました。施設の入所者たちも踊りの輪に参加して、笑顔を見せていました。

会場には露店も出ており、入所者とその家族と一緒に食事をしながら団らんする様子も見られました。



「まちのわだい」のコーナーでは、みなさんからの楽しい話題や情報をお待ちしています。  
企画財政課情報交流担当 ☎2-4290 または E-Mail ☉ kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp まで、お気軽にご連絡ください。



川柳

旅行きて市に見つけし二株のカンナは花茎を擡げ始めむ  
この五月子らがくれたる胡蝶蘭わが玄閻を飾りふた月  
夫の書棚の本を整理しつつほむらの創刊号見いでぬしはし読みをり  
晴れ渡る色とりどりの熱気球大空に広がりながむる今朝は  
滝のよな雨あがりたりづぶ濡れのまち活きいきと洗はれるたるも  
カーアテンの際より外を覗きみるもの書き少し疲れきたれば  
ルーティン夏の夕べに交わす杯  
見上げれば気球の彼方まわった雲  
バーゲンでついつい要らぬ物を買  
どしゃ降りも晴れを信じて歩きたい  
おかあさんとアイスをつくる夢を持ち  
親の目へ抜け道作る反抗期  
秋桜の花咲き誇る北の秋  
収穫を願う神への奉納舞  
リオ終えて努力の後の金メダル  
放浪の身には情けはありがた  
この暑さみんなのせいだよ温暖化  
遅いかもしれぬ一粒の種を蒔く

短歌

尾坂松米高杵小鈴丹桜白  
野田田森森大木森池木後石  
よしいさり恵子乃子恵樹也子弓子豊次繪馨  
石川裕子

石川裕子  
高木慶子  
本間風

編集後記  
今年のパルーンフェスは、時折強風が吹く時間帯もありましたが、3日間とも天気に恵まれ、色とりどりの熱気球が大空を彩りました。私はオフィシャル気球に同行し、陸上だけでなく空中からも競技の様子を撮影しました。カラーでお見せできないのは残念ですが、皆さんに大会の雰囲気や少しも味

わってもらえると幸いです。…S  
あっ!という間に夏が通り過ぎ、もう秋の気配がしています。今年、上土幌の花火大会もちょっと残念なお天気でしたね。そういえば、今年花火らしい花火を一度も見えていない!そうだなあ…いつか、のんびり旅行でもしながら、日本を代表する大曲や長岡、土浦の花火を見てみたいものです。…K

広報がみしほろ 10月号は9月23日(金) 発行予定

平成28年7月末現在の人口

男性	2,405人 (+3人)
女性	2,520人 (+4人)
人口	4,925人 (+7人)
世帯数	2,450世帯 (+6世帯)

寄付  
7月19日、町内2区の篠原公一様が、町の振興のため(故・篠原勝美様が生前お世話になったお礼として)、10万円を寄付されました。

平成28年度ふるさと納税寄付金

7月分	8,011件 131,994,889円
累計	24,295件 391,936,234円

※全国より本町に篤志寄付の応援をいただき心より感謝を申し上げます。

- 上土幌町民憲章
- 心もからだもきたえ、すこやかな人にならましよう。
  - おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましよう。
  - きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましよう。
  - 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましよう。
  - 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましよう。

地域を変えてく新しい力  
地域おこし協力隊活動報告

TITLE: 第43回北海道バルーンフェスティバル 記: 熱気球・観光推進員 堤 大地



こんにちは。上土幌町役場商工観光課で熱気球・観光推進員として活動しております、堤 大地(つつみだいち)です。出身は札幌ですが、しばらく岡山県の方へ行き、その後、北海道の魅力に惹かれ上土幌に戻ってきました。

さて、8月5日～8月7日までバルーンフェスティバルが開催されました。天候は3日とも最高の状態でした! 熱気球が飛ぶには晴れているのはもちろんのこと、風なども影響してきます。今回は気象条件をクリアし、熱気球の係留フライトや一斉離陸を行うことができました。また、空がとても高く澄み渡り、写真映りも完璧な状態でした。

今回、私はこのとき初めていくつもの熱気球が飛んでいるのを見たのですが、「とても感動します!」の一言につきます。仕事などで熱気球の写真は何度も見ていましたが、それでも実際に見ると、熱気球そのものがもつ存在感に圧倒されました。このような純粋な気持ちを、全国だけでなく世界中に発信し、認知度の高いイベントになるように活動を頑張っていきたいと思います。

また、認知度だけでなく、より多くのお客様が来場し実際に楽しんでいただけるようなイベントとして長く続けられるように活動していきたいと思ます。



▲壮大な青空に舞う熱気球



▲朝の一斉離陸の様子(航空公園)

上土幌高校新聞局 通信 月刊 上高



▲野球部へ声援を送る生徒たち

6月27日(月)、夏の高野連大会一回戦が帯広の森野球場で行われました。全校応援が行われましたが、結果は音更高校相手に10対0の5回コールド負けでした。

今大会は野球部の部員数不足により、多くの助っ人に支えられての出場となりました。当日は青空が広がり、絶好の野球日和での試合でした。

野球部キャプテンで投手の早川俊さん(3B)は「対戦相手は打撃力が強かったと感じた。チームの雰囲気は最後まで勝ちに行く気持ちが強くて良かったと思う。また、ピッチャーとして、試合中はコントロールや相手選手の内角に投げられることを意識していた。練習では先生がいるときはノックを、いないときはバッティングを中心に組みこんでいたが、試合では練習の成果を十分に発揮することは出来なかった」と語りました。

顧問の鎌田先生は「相手のバットの振りが思ったよりも速く、打たれてしまったものもあるが、エースの調子が芳しくなかったのが原因の一つでもあると思う。全体では力を出し切れていたと思うので来年に向けて悔しさを忘れず、継続して練習に一生懸命取り組んでほしい」と今年の部員たちをねぎらいました。

応援団長の小林優斗さん(3B)は全校応援について「今年も全体的にとて声が出て盛り上がった。一部声が出ていない人がいたので、そこは反省すべき点だと思う」と振り返りました。

6月27日 高野連野球大会

文責 早坂 終咲

Monthly Kamihihoro High-School